

『入試まであと30日余り!』

今年の公立高校の入試は3月5日(火)、高専は2月24日(日)です。公立入試まで一ヶ月余りです。倍率の中間発表での明輝高校の1.05倍と言う数字は驚きでした。江南高校の裁量問題採用で北陽高校ではなく明輝高校に出席している生徒が相当いることが分かります。

このことから釧路の生徒がいかにも上を目指さないのか、楽なほうを選択するのがよくわかります。ステップゼミナールの中3生は1月21日から3月3日までの間、休みは3日(その内1日は私学の入試日、1日は高専の入試日)しかありません。その間、全国の難しい入試問題にも取り組み、入試に向けた実践に即した授業も行います。更に希望者のみ

ですが入試直前ゼミ(有料)を土、日曜日で∞回実施します。

今年の北海道の入試は難しくなると言われていますが、難しかった1月の道コンでも生徒は志望する各学校の平均点よりも高い得点で、確実に成果は上がっています。残り30日あれば更に20点はアップします。とにかく前向きに、そしてプラス思考で頑張ります。

これから本格的にインフルエンザが流行します。手洗い、うがいをし、体調管理をしっかりすることです。また、路面の凍結でも危険な状態です。転んで骨折などの怪我をしないように注意してください。残り1ヶ月が自分の人生を左右するかも知れません。15の春に楽をしてはだめです。昨年、定員割れ



1/25 公立高校倍率発表の日 道コンの結果と共に状況を説明 みんな真剣に聞いている!



受験生は、ほぼ毎日試験を受けます。



歴史特講座 参考書が頼りになります。



受験まで30日 市内の塾の中でも、最も多い勉強時間です!

の専修に合格が決まった次の日から塾に来なかった生徒がいます。言っていたとおり、先日退学しました。留年しても勉強しないことが自分で分かっているからです。子供のいう事を認めてしまう親も問題でした。

高校入試で楽をした生徒は高校に行つてからも勉強をしません。先日来た立命館大学の先生も、推薦入学で入った学生は「就職で不利な傾向が強くなった」と言っていました。塾生の皆はそうならないようにとにかく全力を尽くしましょう。

また、中1と中2は学年末テストがありますので、2月23、24日に、各学校のテスト範囲を集中的に学習する1000分特講(有料)を実施します。内申が確定する大事なテストです。ぜひ参加して下さい。

『人生初めての受験を不安に思っている君へ』

日本ゴルフ界の重鎮、青木功選手はパットの名人として有名です。独特のフォームから必ずオーバーするようボールを強く打ちます。「届かないパットは絶対に入らない」というのが氏の主張です。

ある時、若手プロゴルファーが質問しました。「そんなに強くパットして、外れた時のことは考えないのですか?」

青木プロの答えは明快です。「外れた時のこと? そんなものは外れてから考えればいい。そんな心配をしていると、入るパットも入らなくなる」パットを打つ時は、「入れることだけを考えろ」と言うのです。

受験も同じです。落ちた時の不安は誰にでもあります。しかし、そんな心配をしていたら、合格するはずの学校にすら落ちてしまいます。ひたすら合格することだけを考えて勉強すればいいのです。志望校を受験しなければ、いくら入試の点が高くても志望校には入れないのです。合格できなかったときの覚悟さえができれば怖いものはありません。そこに必要なのは強い意思と勇気です。失敗を恐れては前に進みません。ステップゼミナールの過去の卒業生にはそうやって自分の志望校に合格していった生徒が大勢います。後で後悔しない15の春に望みます。

毎年この季節、東洋大学から届く「現代学生百人一首」。『過ぎてゆく高二の夏を止めたくて朝顔一つ押し花にする』鈴木亜矢子。青春の逃げ足はいつも速い。『朝早くカーテン開けて光合成力満ちたらさあ出かけよう』高1、唐澤春奈。政治に向く目に風刺がまじる。『弟がテレビを見ながら僕に問う今年の総理は誰がなるの』高2、正木雄介。ネット時代を見る目も冷静で的確だ。『詳しくはウェブで』とうとうCMは情報社会の格差を広げる。高1、木村紗和音。家族のありがたみは家を出てわかる。『おかえり』がこんなうれい言葉とは初めて知った寮に入つて。高2、高橋香那。遠くで働く親を思いやつて。『四季のない異国の父へ秋便り庭の紅葉の押し葉のしおり』高3、井上裕衣。年若いほど発想は自在だ。『えんぴつがくるりくるりとダンス中白いステージ中間考査』中3、下迫仁子。さて試験の結果は? 小学生の部に『そよ風にたんぽぽみんな言っている種をたく配してちょうだい』6年、本木万葉。読み終えて、春に一步近づいた。天声人語1月12日より

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
				★入試直前ゼミ⑦ ■1000分特講 ■1000分特講	★入試直前ゼミ⑧(8は3月2日)						★入試直前ゼミ⑥	★入試直前ゼミ⑤		■私学入試				★入試直前ゼミ④ ●建国記念の日●小学生、中1、2休塾	★入試直前ゼミ③			■中1、2年学力テスト			★入試直前ゼミ②	★入試直前ゼミ①	
■2月の予定■																											

携帯電話の教習禁止
携帯電話の持込は禁止。連絡は塾の電話を使用して下さい。

■命がけで見た夢の終焉■

◆「僕には夢がある」

彼は常に「夢」を語ってきた。

石川県能美市にある「松井秀喜ベースボールミュージアム」の正面には、彼がまだ右でバットを構えていた少年時代のブロンズ像がある。台座に彫り込まれた文言は、「僕には夢がある」。

当時の夢は、甲子園だった。夢はそれから、プロ野球に、巨人の4番に、メジャーリーグに、ヤンキースでの世界一にと膨らみ、すべてかなえてきた。その到達点が、2009年ワールドシリーズのMVPだったのだろう。

引退会見で「おそらく一生変わることなく、僕の心にあり続ける」と語ったあの試合が、ヤンキースでの最後の試合になった。試合後の第一声は、「夢みたいです」だった。次の夢を設定する前に、あのときついに、彼は夢に追いついてしまったのではないかと。

例えば「夢」という言葉を、彼はこう使ってきた。

第1回のワールドベースボールクラシック(WBC)で王貞治監督からの招請を固辞した際は「ヤンキースで世界一になるという米国行きを決断したときの大きな夢が、おろそかになるのを恐れる自分がありました」。

◆「夢への遠回り」

いじめによる自殺が社会問題化した際には、こうメッセージを発したこともある。

「人は夢を持っている。僕の夢は野球そのものだった。いじめることが夢だという人は一人もいないはずだ。かなう夢、かなわない夢があると思うけど、いじめは夢への遠回りになっている」

大型選手の宿命、膝に爆弾を抱える彼にとって、シーズン前に行われるWBCへの参加は、「夢への遠回り」と判断せざるをえなかったのだろう。

夢を大事に生きてきたから、他者の夢にも思いをはせる。05年のオフ、帰国した日本では子供に対する理不尽な殺害事件が続いた。

彼ら彼女らには、遊園地を作る夢や、ケーキ屋さんになる夢があった。松井は唇をかみ、怒っていた。「社会的弱者を、自分のちょっとした感情で殺してしまう人がいる。何の罪もない子供の夢を奪うような事件は、本当、許せないですね」

そんな松井が、昨年末、ニューヨークで行った引退会見では、一度も「夢」という言葉を使わなかった。これまで「夢」と語ってきた場面では「目標」「あこがれ」という単語に言い換えていた。

代わって、会見では「命がけ」という言葉が強く耳に残った。

「命がけでプレーし、メジャーという場で力を発揮するという気持ちでこの10年間やってきましたが、結果が出なくなったということで、命がけのプレーもここで一つの終わりを迎えたのではないかと思います」

夢は、命がけで追い続けるもの。命がけのプレーに区切りをつけたいま、「夢」を簡単に口にすべきではない。そんな意識が彼にあったのだとしたら、あまりにも誠実で、少しせつない。

◆「人生をかけてきた」

「命がけ」という言葉を普段、耳にすることはほとんどない。だが松井の会見前日、似た響きの言葉を聴いていた。

昨年12月27日、日本記者クラブで、昨季を最後に21年間のプロ野球生活を終えた元阪神、金本知憲の共同会見が開かれた。

彼は「プロ野球という勝負する場をただで、人生をかけてやってきた」と話し、今後について「野球に人生をかけてきたので、これ以上の勝負をする勇気が自分にあるかどうか」とも語った。

2人の思いが、交差して聞こえた。共同会見後の控室で、金本はしきりに松井の去就を気にしていた。縁の薄そうな2人だが、それぞれを引退に追い込んだ松井の膝、金本の右肩の故障を診る主治医が同じだったのだという。一人の医師を媒介に、両雄は互いの症状をおもんばかり、無言のエールを送り合ってきたのだろう。

引退に際し、松井は思い浮かぶシーンを「長嶋監督と素振りをした時間」と振り返り、金本は「最初の3年間は自分よりバットを振っている選手はいないと思っていた」と自負を語った。

日米通算507本塁打の松井は「記録よりも、僕が常に意識したのはチームが勝つために何をするのか、ということ」と語り、1492試合連続フルイニング出場の世界記録を持つ金本は、一番誇るべき記録を問われて、「連続打席無併殺」と即答した。

01年に達成した1002打席無併殺は日本記録。「併殺崩れでセーフになっても打率は下がる。それでも僕は全力で走ったと、一番胸を張れる記録なんです」

右投げ左打ち、好漢の両雄には、しばしの休息の後、新たな夢と勝負の場を得てほしい。

2013.1.12 MSN 産経ニュース論説委員・別府育郎

■箱根駅伝に思う

日本の競争のあり方「低下」招いた日教組ら■

正月は箱根駅伝のテレビ中継にかじりついた人も多いだろう。駅伝は他のスポーツに比べてルールが単純で誰にでもわかりやすい。また区間ごとに各チーム1人の選手が競うために各人の責任が明確で、それだけにヒューマンなドラマが数多く誕生する。寒空の下の選手たちのひたむきな姿勢と闘争心には感銘を受けた。

昨年19位ながら総合優勝を果たした日体大は、先頭でたすきを渡す選手の顔が皆笑顔であったのが印象に残った。彼らはプレッシャーに押されるのではなく精神的な高揚を良い成績に結びつけたのだろう。一方、2位でたすきを渡す東洋大の選手の顔からは、追いつかなければならないプレッシャーからか笑顔が消えていた。2位では不満な大学もあるのだ。

18世紀のスイスの数学者、ベルヌーイはこれを効用(満足度)という概念で説明した。各駅伝参加校はそれぞれが自己の戦力を分析し、各自の満足できる目標に向けてできる限りの激しい練習をしてくる。優勝のための練習とシード権確保のための練習の厳しさが同じだとは言わないが、その大変さに違いはない。公平な競争は多様な参加者を産み出す。誰もが優勝を目指しているわけではないのだ。

ハーバード大学の歴史学教授、アンドルー・ゴードンの書いた近現代史「日本の200年」にはこういう記述がある。日本人があまり指摘しないポイントだ。

「(日本の)学力主義にもとづく高校と大学の入学制度は、みごとにまでの平等主義を誇っていたが、その平等主義が1970年代から80年代にかけて大きく侵食された」。70年代に受験地獄を見かねた日教組や知識人たちが提起した「ゆとりある学校」のことである。バブルと同じ章に書かれたこの一文は日本の国際競争力低下の原因を暗示している。

当時は古くからの公立進学高に学区制が敷かれ、できる限り競争を排除しようとした。その結果、受験生と教育熱心な両親たちは塾や私立一貫校へと走り、一流大学入学者は裕福な両親を持つ者が多くなった。受験には経済力が必要となり、社会的地位の格差や経済格差は学力格差を通じて固定化され始めたのである。

「中国化する日本」を書いた歴史学者、與那覇潤(よなは・じゅん)のいう「身分の再固定化」を意味する「江戸時代化」である。

大学駅伝のような公平な競争基盤があれば、裕福な者がより高みを目指す一方で、貧しい者は、人から見ればささいな目標にも、向上心を持って死ぬ気で頑張れるのである。少子化で大学全入の中、多彩な人材育成には多彩な大学入試制度は理にかなっているが、実はフラットな競争こそが多彩な人材を産み出す。昔の日本には実に多彩な人材がいたのである。

2013.1.10 フジサンケイビジネスアイ 作家・板谷敏彦

顧問体罰、10年前からOB証言、倒れ込むほど強烈

2013.1.12 MSN産経ニュース west

大阪市立桜宮高校の男子バスケットボール部主将だった2年の男子生徒=当時(17)=が体罰後に自殺した問題で、男性顧問(47)が少なくとも10年前からバスケ部員を平手打ちするなどの体罰を行っていたことが11日、OBへの取材でわかった。OBは大柄な部員が倒れ込むほどの強烈な平手打ちが行われたことなども証言。顧問による体罰が、常態化していたことを裏付けた。

約10年前にバスケ部に在籍したOBによると、顧問は当時から、「練習に熱が入っていない」などの理由で、片手や両手で平手打ちをすることがあり、ときには身長約180センチ以上の大柄な部員が床に倒れ込むほどの力で思い切りたくこともあったという。

昨年12月23日に自殺した生徒がその前日、母親に「(顧問から)30~40発殴られた」と打ち明けていたことについては、「あるかもしれない」と話した。

OBは体罰が特定の生徒に集中することもあったとしたうえで、「バスケットはチームプレー。引き締めるために『叱られ役』は必要だった」と語った。しかし、体罰が練習以外で行われることはなく、「顧問は叱りっぱなしということではなく、良いプレーには『ようやった』と褒めてくれた」とも証言。「多くの生徒が顧問に憧れて入部しており、手を上げられることがあるのは最初から納得していた」と明かした。

近畿地方の大学で現在もバスケットを続けている別のOBも「上達したのは顧問教師の指導のおかげ」と話す。

生徒の自殺問題が表面化して以降、ツイッターやフェイスブックには複数のOBらから投稿が急増。「先生の言葉や行動にはいつも僕たちへの思いがあった」など擁護する書き込みも相次いでいる。

「体罰が悪い」だけでは何も解決しない。なぜ自殺してしまうのが問題なのでは。